

平成22年度 NPO協働事業 キャンプ実行委員会記録 第1回目

日時 平成22年 7月23日(木) 13:00~17:00
 場所 小嶺児童館 学童室(プログラム①②) 事務室(プログラム③)
 参加者 キッズワーク 大久保さん(プログラム進行) 鶴野さん(記録) ふくおかNPOセンター古賀さん
 小嶺児童館 加来館長 角園 長谷川(児童と共にゲームに参加)
 中学生2名・・・(桑原 佐藤秀哉)
 小学生10名・・・6年生3名(神園 小森 松本) 5年生2名(野崎 佐藤慧)
 4年生5名(村田 倉重 佐藤光莉 渡辺 石谷)

13:00 スタッフ打ち合わせ・・・プログラム内容確認 ”みんなですればできる”体験をする

時間	プログラム内容・実際の様子など	大久保さんからの声かけ
13:30	プログラム①自己紹介 (2人組の相手のことをみんなに紹介する。) (2人組作り・全員で誕生日順に並び、端から2人組になる。) ●自己紹介30秒、インタビュー2分行き、交代し、同じく自己紹介とインタビューを行う ●自分とペアの相手のことを、全員に対して紹介する。(全員)	
14:15	プログラム②ひもゲーム (腰の高さ位に張ったひもを、全員で手をつないだまま越える) ●決まり・手を離さない・ひもに触らない・制限時間(20分) 意見が出てくるがなかなか実行に至らず、数回の試みで制限時間となる。 →再度挑戦を決定(多数決で意思確認する児童が出て、決定) 5分の延長内に同じ試みを繰り返し、失敗のまま制限時間となる。 →再度挑戦を決定(多数決で意思確認する児童が出て、決定) 10分の延長内、声の掛け合いが盛んになり、人の意見を取り入れ実行し、ほぼ成功。 振り返り ・どんな意見が問題を解決するきっかけになったか ・いい意見を出してくれた人 ・誰がルールを守ろうとしたか ・一番難しかったこと ・思ったこと 工夫したことを発表する中で、その意見を誰が発したかを確認して 最後はみんなが一つになれた気がするという感想も有。	思ったことを言う 試してみること 全員の意思確認をすること 話し合うこと あきらめない大切さ ⇒ 思ったことを口に出す 仲間の誰かが見ている (行動、つぶやいたこと)
15:15	プログラム③月に迷ったゲーム (月に不時着、15品の物品の優先順位を付ける) ●自分一人だけで優先順位を付ける。(約10分間) ●チーム全員の意見を合わせて順位付けする。 (進行、書記、ともに立候補者あり。児童の意見でじゃんけんにて決定) →進行(中2)により、多数決で話が進められていく。 アドバイスを受け、少数意見を聞くが、なかなか討論には発展しない。 →大久保さんの進行に変更(進行、書記の児童も意見を発する側に) 自分の意見を主張する事、他の意見を聞いて納得する、反論する事、等を経験 少数意見として答えを発するが、理由等の説明までは言い切れない児童もいる 意見をチームで一つにする事に時間はかかるが、15品最後まで決めきる。 ●失点(NASAの順位の数字との差)を出す。 自分一人で行った順位の失点と、チーム全員で決めた順位の失点の差を出す。	多数決のマイナス面について その品を選んだ理由を尋ねる 討論点の整理をする 時間の経過を知らせる 有効な多数決の場面を教える
17:00	振り返り ・失点の差を見て みんなで決めた事で、一人よりも良い結果が出た。	⇒ これから計画するキャンプも 同じことが言える。 人の意見にも新たな発見有り

所見・・・時間はかかったものの、”みんなですればできる”、”みんなで考えたらより良くなった”体験ができた。
 活発な議論にはなかなか至らないものの、人が自分の意見を聞いてくれる事や、人と違う意見を主張する事を体験しながら、一体にまとまっていく最後まで、投げださずにあきらめない児童の姿に感心させられた。

次会(8/4)までの宿題 テーマ 地域を使ってみんなで楽しく過ごす1泊2日
 宿題 地域の面白いと思うところ、変だなと思うところを紹介する